

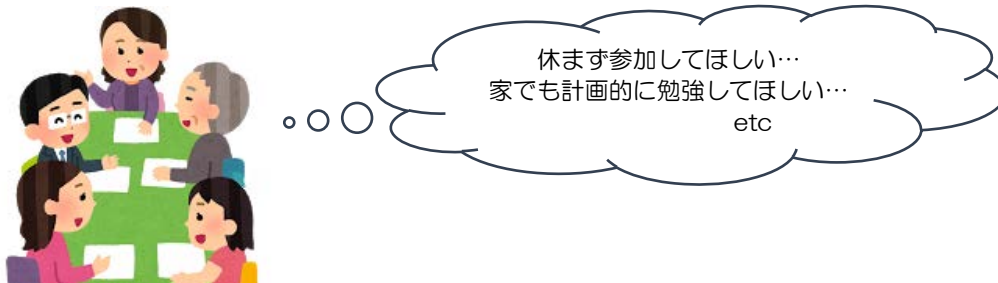
地域学び場応援事業 運営の手引き



福岡市地域の教育力育成・支援協議会

1. 運営会議を定期的に行う

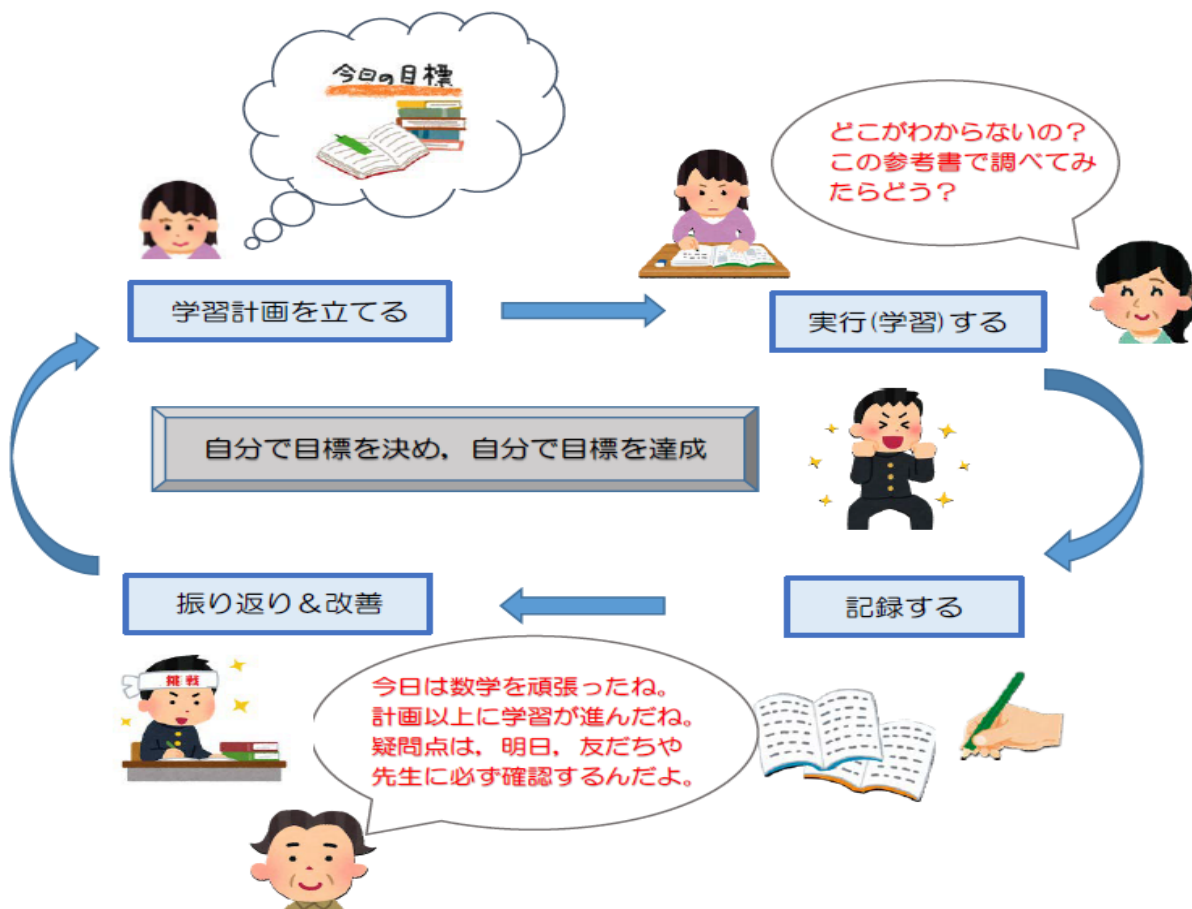
学習会を運営するためには、グループ会員相互の話し合いを実施し、目指す方向性を共有することが大切です。目指す生徒の姿や会のあり方を具体的に考え、1年間の目標を立てましょう。3～4か月に一度は、進捗状況を会員同士で確認しましょう。講師が参加する場合は、謝礼金を支払えます。



2. 「計画・実行・記録・振り返り」のサイクルを大切に

学力向上のためには、生徒に家庭学習の習慣を身に付けさせることが大切です。

宿題や課題を確実にすることも大事ですが、「自分で計画を立て実行し、目標を達成する」という成功体験が、『生徒のやる気』を高め、家庭学習の習慣化につながります。



3. 学習習慣定着のために効果的なこと

【生徒がすること】

①自分で学習計画を立てて学習する。

まずは、ここから...

学習習慣を定着させるためには、休まず学習会に参加することが大切です。学習会に来たら、今日何をするのか、何ができるようになりたいのかを生徒自身に考えてもらいましょう。そして、自分で学習計画を立て、実行し、振り返り、次の計画を立てるサイクル確立のため、学習会前に「今日は何をするのか」、終了後に「何がどこまで出来たのか」を生徒自身が確認するようにしましょう。生徒だけで計画を立てることが難しそうであれば、講師や会員と一緒に考えてあげてください。



計画を立てることに慣れてきたら...

次の学習会までの毎日の学習計画を立てるよう生徒に働きかけてみましょう。試行錯誤しながらも、生徒自身が自分にあった家庭での学習方法を見つけ、自主的・継続的な学習習慣を身に付けることが、学力向上のためにとっても重要です。

◎5～9ページに学習の「振り返りシート」を掲載していますので、ご活用ください。



②分からないことを放置しない習慣をつける。

中学校の学習進度は速いため、分からないところを放置すると、授業についていけなくなり、学習への意欲が低下します。学習会で解決できないときは、「明日、友だちや学校の先生に聞いてみたら？」とアドバイスしましょう。分からないことは、できるだけ速く解決する習慣をつけさせることが重要です。次回、生徒に会ったときに、問題が解決したか確認することも忘れずに。

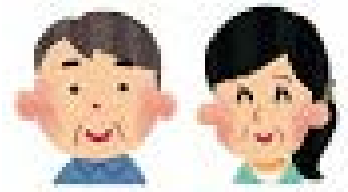


※生徒が先生に聞くことが難しいようであれば、会員から学校に相談するのも一案です。グループの活動を学校に知ってもらうことを通して、相談できる関係をつくりましょう。事務局から、グループの活動を学校にお知らせして、学校との関係をつくるお手伝いもできます。

【グループ会員&講師がすること】

①学習内容の確認と声掛け

会員や講師は、勉強会開始前と終了後には学習内容の確認を行いましょう。生徒に声を掛けるときは漫然と褒めたり、励ましたりするのではなく、具体的にしてください。



「温かい目で見守ってくれている」「自分に期待をかけてくれている」と思えることが、生徒のやる気を高めるきっかけになります。それぞれの生徒の課題を会員や講師が共有することで、その生徒に応じた声掛けの視点が見えてきます。

生徒のやる気を導き出す声掛け、学習が苦手な生徒へ興味をもたせるためのヒントなど、それぞれの生徒にあった関わり方を考える参考にするため、助成金で教育書を購入することもできます。

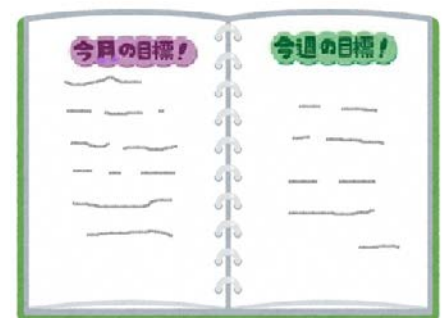
②生徒のつまずきに気付く

学習会では、宿題がうまくできない、学習がなかなか進んでいない状況に気付くことがあるかもしれません。そんなときは、生徒との会話を通して、つまずいているところを確認し、つまずいているところから学習するように促しましょう。



③生徒の個人ファイルの作成

学習したプリント等をファイルに綴り、自分が勉強した成果を「見える化」することで、達成感をもつことが出来ます。また、間違ったり難しく感じたりしたところを定期的に見直すためにも、個人ファイルを作成しましょう。



④家庭と連携

学習会での生徒の様子を家庭に伝え、保護者からも励ましの言葉を掛けてもらうなどの取り組みを通して、共通理解を図りましょう。

家庭学習の習慣をつけるため、家庭とグループが連携を図ると、より一層効果があがります。

4. 学習会運営スケジュール（見本）

時 刻	学 習 会 の 流 れ
16:30	会員：学習会場の準備，生徒の出欠確認
17:00	<p>学び場開始</p> <p>生徒：今日の学習予定を振り返りシートに記入する。 会員：連絡なしで欠席した生徒がいれば，家庭に連絡する。</p> <p>< 学習タイム > ・必要に応じて，会員・講師がアドバイス</p>
18:50	<p>生徒：学習内容を振り返りシートに記入 会員・講師：学習内容を生徒と確認&声掛け</p>
19:00	<p>学習会終了 会員：生徒の安全に配慮し帰宅させる。 学習記録を作成する。 （出席状況，学習の状況，生徒の様子など）</p>
19:45	会員：会場を施錠。

5. 振り返りシートについて

学習習慣の定着を促すために、生徒自身に振り返りシートを必ず作成してもらいます。3種類のシートを作成しているので、生徒一人ひとりの学習状況にあわせて活用してください。グループの活動に応じてシートを修正してもかまいません。

【シート①】 ～学習会の学習記録用～

○対象

家庭での学習習慣が身に付いていない生徒

○活用の仕方

学習会に来て何をするのか、何ができるようになりたいのかを生徒自身が考え、1学期の目標を立てましょう。そして、目標に沿って、学習会でその日何をするのか学習予定を立て、学習会終了後に、振り返ってもらいましょう。生徒自身ができるようになったこと、分からないことを確認することはとても重要です。



【シート②】 ～学習会と家庭での学習記録用～

○対象

家庭での学習習慣が身に付いてきた生徒

○活用の仕方

学習会での計画だけでなく、次の学習会までに学習することを生徒が計画し、学習会以外でも家庭で学習するように促しましょう。学習内容を記録し、次回学習会に来た時に振り返ってもらいます。少し長期的な目標を立て、その目標を達成するためにどのような勉強をすればよいのかを考え、目標を達成したという成功体験を生徒が経験することで、より学習習慣の定着の促進につながります。

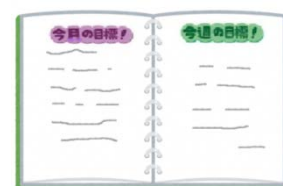
【シート③】 ～1か月の学習記録用～

○対象

学習計画を立てることに慣れ、家庭での学習習慣が身に付いた生徒

○活用の仕方

1か月の目標を立て、「今日何をするのか」「どれだけしたのか」など、毎日の学習内容の予定と実績をより細かく記録します。更に月の終わりには、どの教科を何時間勉強したのか、何ができるようになったのか、次は何をしたいのかを確認しましょう。生徒自身が毎日の学習内容や学習時間を記録し、1か月を通して「計画・実行・記録・振り返り」をすることで、自分の努力の結果を確認でき、達成感を感じることができます。



【シート②】

4月 グループ名： すぎのこ 2年 名前： 天神 太郎

出席日： 4月10日

学習予定

- ・英語の予習
- ・数学の連立方程式のプリント
- ・理科の参考書 P 16～20ページ（人体）

当日の学習会での記録

実績，振り返り（簡単に感想）

- ・受動態の不規則動詞で覚えていないのがいくつかあった
- ・連立方程式の文章題が解けるようになってきた
- ・血液の働きや血管の種類について勉強した

◎次回の学び場までにすること

- ・学校で配られた受動態の単語表を全部覚える
- ・教科書や参考書で連立方程式の分野の復習をする
- ・消化器官の名前やその働きについて理解する

次の学習会までの家庭学習の記録と振り返り

◎上に書いた目標を達成するために，どんな勉強をしたか記録しよう

- ・毎日，受動態の単語表の単語を声に出しながら書いて覚えた。覚えにくい単語は，単語帳に書いて覚えるようにした。
- ・復習をしていると，文章題の道のり，速さ，時間が苦手なのが分かったのでたくさん問題を解くようにした。
- ・教科書の図を見ながら，それぞれの器官の名前や働きを覚えるようにした。
(小腸の柔毛→栄養分を吸収する→表面積を大きくして吸収効率をあげる構造)

◎次回，学び場に来たとき振り返って目標を達成できたか評価してみよう
(◎ よくできた，○ ほぼできた，▲ あまりできなかった)

評価

◎

◎2回の学習会を振り返ってみて，分かるようになったこと，これから取り組みたいことを書いてみよう

英語や数学の分からなかったところが，分かるようになった。また，忘れていたところもあったので定期的に復習するようにする。

出席日： 4月20日

学習予定

--

実績，振り返り（簡単に感想）

--

◎次回の学び場までにすること

--

◎上に書いた目標を達成するために，どんな勉強をしたか記録しよう

--

◎次回，学び場に来たとき振り返って目標を達成できたか評価してみよう
（◎ よくできた，○ ほぼできた，▲ あまりできなかった）

評価

「頑張ったね」だけでなく，生徒の頑張りを褒め，やる気を導き出すよう，具体的なコメントを記入するようにしてください。

◎コメント（会員や指導者が記入）

苦手な教科にしっかり取り組み，分かるまで学習していてよく頑張っていたと思います。学習会以外でも，勉強していたのでこれからも継続してください。

【シート③】

4月の学習シート グループ名： すぎのこ 2年 名前：天神 太郎

◎今月の目標

- ・ 苦手な数学と英語は毎日勉強する
- ・ 授業で分からないことがあったらその日のうちに分かるようにする
- ・ 月の勉強時間が50時間を超えるようにする

◎今月の学習を振り返り、分かったこと、取り組んだことを書いてみよう

- ・ 数学はすぐに答えを見ずに、できるところまで自分で解くようにした
- ・ 英語の受動態の文法が分かるようになり、文章が読めるようになった
- ・ よく間違える問題やよく調べる単語は、ノートにまとめるようにして、見返すようにした

◎今月の学習を振り返り、分からなかったこと、できなかったことを書いてみよう

- ・ 連立方程式の簡単な問題は解けるようになったが、文章題はまだ解けない問題が多いので、来月も毎日問題を解くようにする
- ・ 理科の分からないところが出てきたので、勉強する時間を増やす

◎今月の学習時間を計算してみよう

60時間 (1週間あたり 15時間)

◎教科別の学習時間を計算してみよう

国語	数学	英語	社会	理科
10時間	15時間	15時間	10時間	10時間

◎コメント (会員や指導者が記入)

「頑張ったね」だけでなく、生徒の頑張りを褒め、やる気を導き出すよう、具体的なコメントを記入するようにしてください。

月の初めに立てた目標を達成するために、自分で考えて勉強していて頑張っていたと思います。特に、自分でノートを作っていたのは、勉強の仕方を工夫しており、とてもよかったと思います。振り返ってみて、できなかったところはそのままにせず、毎日の勉強で取り組むようにしましょう。

4月の学習記録 グループ名： すぎのこ 2年 名前：天神 太郎

日付	教科	学習予定	時間	評価
4/10	国語	古文単語の暗記, 予習	30分	◎
	数学	参考書 P 6 ~ 10 ページ (連立方程式)	30分	◎
	英語	予習, 宿題プリント	1 時間	○
4/11	数学	参考書 P 11 ~ 15 ページ (連立方程式)	30分	◎
	英語	単語, 文法の暗記	30分	○
	社会	参考書 P 32 ~ 36 ページ (江戸時代)	1 時間	○
	理科	宿題プリント	30分	◎
4/12				
4/13				
4/14				
4/15	英語	土曜日はNHK基礎英語をまとめて聞く	1 時間 15 分	
	数学	今週間違った問題の復習	1 時間	
4/16				

その日の学習予定や評価
今後の学習予定について記入

学習会に参加した日は、日付に丸をつけよう
評価：◎ よくできた, ○ ほぼできた, ▲ あまりできなかった